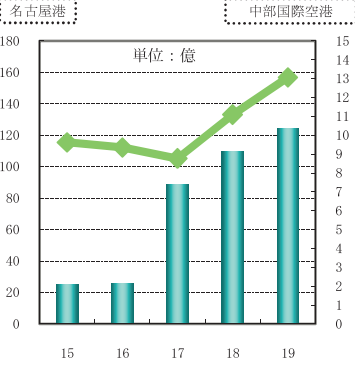


輸出が期待される農水産物

名古屋港及び中部国際空港における食料品輸出額の推移

■ 中部国際空港 ▲ 名古屋港



資料：通関統計

注：空港移転のためH17.2までは名古屋空港のデータである。

岐阜県

○一定の輸出が行われているもの

- ・富有柿・・・中国(香港)
- ・米(美濃ハツシモ)・・・中国(香港)

愛知県

○一定の輸出が行われているもの

- ・大葉・・・台湾
- ・鉢物(シンビジウム)・・・中国(広州、上海)
- ・緑茶・・・アメリカ、カナダ、ドイツ、イタリア
- ・次郎柿・・・中国(香港)、タイ

○今後主要輸出品目になりそうなもの

- ・アールスメロン・・・中国(香港)
- ・愛宕梨・・・中国(香港)、タイ

名古屋港

- 24時間荷役可能
- 世界の約150の国や地域と貿易で結ばれる
- 国内五大港の中で輸出総額及び輸出入総額で第1位

○19年輸出実績

全体：11兆7,112億円
食料品等：157億円(0.1%)

名古屋港

中部国際空港

干物

200km(3h)

富有柿

60km(1h)

ハツシモ

20km(0.5h)

洋ラン

40km(1.0h)

愛宕梨

30km(0.75h)

次郎柿

100km(2h)

緑茶

30km(0.75h)

大葉

30km(0.75h)

メロン

30km(0.75h)

中部国際空港

- 24時間利用可能
- 陸・海・空の高い交通利便性
- 空港輸送の動向に応じ、逐次施設の拡張が可能

○19年輸出実績

全体：1兆2,421億円
食料品等：10,4億円(0.1%)

三重県

○今後主要輸出品目になりそうなもの

- ・ひもの・・・中国ほか東アジア地域